

みずほCustomer Desk Report 2020/10/02号(As of 2020/10/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	105.55
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	105.45	1.1725	123.71	1.2918	0.7166
SYD-NY High	105.73	1.1770	124.20	1.2979	0.7209
SYD-NY Low	105.41	1.1718	123.64	1.2819	0.7155
NY 5:00 PM	105.56	1.1750	123.98	1.2884	0.7182
NY DOW	27,816.90	35.20	日本2年債	-0.130	1.00bp
NASDAQ	11,326.51	159.00	日本10年債	0.010	0.00bp
S&P	3,380.80	17.80	米国2年債	0.128	▲0.19bp
日経平均	取引停止	-	米国5年債	0.274	▲0.32bp
TOPIX	取引停止	-	米国10年債	0.678	▲0.66bp
シカゴ日経先物	23,380.00	75.00	独10年債	-0.5290	▲0.75bp
ロンドンFT	5,879.45	13.35	英10年債	0.2340	0.45bp
DAX	12,730.77	▲ 29.96	豪10年債	0.8940	3.90bp
ハンセン指数	-	-	USDJPY 1M Vol	6.40	0.69%
上海総合	-	-	USDJPY 3M Vol	7.60	▲0.16%
NY金	1,916.30	20.80	USDJPY 6M Vol	7.49	▲0.06%
WTI	38.72	▲ 1.50	USDJPY 1M 25RR	-0.90	Yen Call Over
CRB指数	146.057	▲2.45	EURJPY 3M Vol	7.98	0.05%
ドルインデックス	93.71	▲ 0.17	EURJPY 6M Vol	7.98	▲0.03%

東京	東京時間のドル円は105.45レベルでオープン。東証でシステム障害が発生し株式全銘柄の売買が停止したものの為替相場への影響は限定的。中国はじめアジアの複数の国が休場なこともあり、ドル円は105円半ば近辺で動意薄く推移し、105.50レベルでクローズ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、105.50レベルでオープン。材料が特段出なかったこともあり105.45-62で推移し105.47レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.2946レベルでオープン。朝方はEU側から通商交渉へ向けた発言が出たことで売られ1.2819まで下落。しかし昼頃に今度は英国側から楽観的な見通しがハッドラインで流れると1.2975まで買われ、結局1.2965レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	月末、期末絡みのドル買いが終わり、海外市場でドル売りが強まる一方、クロ円の買いに値動きを挟まれ、狭いレンジでの推移が続いたドル円は、105.47レベルでNYオープン。朝方は、米新規失業保険申請件数、並びに継続受給者数が予想を下回り、8月個人所得は予想以上に低下したものの、個人支出が予想を上回り、8月PCEデフレーター(前年比)が1.6%まで上昇したこともあり、ドル円は上昇し、10時のNYオープンカットに掛けて105.73まで上昇する。10時に発表された米8月建設支出は予想を上回り、前回分も上方修正されたが、同時に発表の米9月ISM製造業景況指數が、雇用は前回から改善したものの、新規受注が前回から低下したことから予想を下回り、105.63まで反落。その後も米金利が低下する動きにドル円は105.53まで下落。午後は狭いレンジでの推移が続くが民主党のシマー・上院議員が「ペンシル下院議長とトランプ政権は景気対策の合意には達していない」と話す。株式市場がマイナス圏へ下落する動きにドル買いが強まり、ドル円は105.61まで戻す。終盤に掛けては明日の米雇用統計結果発表を控え狭いレンジでの推移が続き、105.56レベルでクローズした。一方、海外市場でドル売りが優勢となり1.1770まで戻したユーロドルは、1.1764レベルでNYオープン。朝方はドルが買い戻される動きに1.1723まで反落する。その後1.1756まで戻す局面もあったものの、追加の米景気対策が合意に至らなかったことから、再びドル買いが優勢となり1.1735まで反落する。終盤に掛けては明日の米雇用統計発表を控え、狭いレンジでの推移が続き、1.1750レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:鈴木・小野崎 TEL:03-3242-7070 FAX:03-3211-5825 LDN 00531-444-179 NY 00531-113-682

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
10月1日	18:00	欧 PPI(前月比/前年比)	8月 0.1%/-2.5%	0.1%/-2.7%
	18:00	欧 失業率	8月 8.1%	8.1%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	26-Sep 837k	850k
	21:30	米 個人所得/個人支出	8月 -2.7%/1%	-2.5%/0.8%
	21:30	米 PCEデフレーター(前月比/前年比)	8月 0.3%/1.4%	0.3%/1.2%
	22:45	米 マーカット製造業PMI・確報	9月 53.2	53.5
	23:00	米 建設支出(前月比)	8月 1.4%	0.7%
	23:00	米 ISM製造業景況指數	9月 55.4	56.5

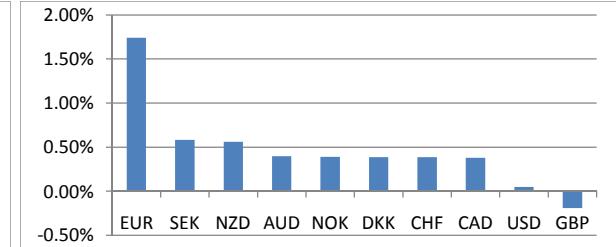
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
10月2日	10:30	豪 小売売上高(前月比)	8月 -4.2%	3.2%
	18:00	欧 コアCPI・速報	9月 0.4%	0.4%
	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	9月 875k	1371k
	21:30	米 失業率	9月 8.2%	8.4%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	9月 0.2%/4.8%	0.4%/4.7%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	9月 79	78.9
	23:00	米 製造業受注(前月比)	8月 0.9%	6.4%
	23:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	8月 0.4%	0.4%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	105.00-106.00	1.1680-1.1780	123.40-124.40

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル/円は105円台半ばを中心に動意を欠く展開。東証のシステム障害への反応は限定的。米経済指標も強弱入り混じる結果となり、決定打となる取引材料に欠ける中、一日を通して30銭程度の狭いレンジ内での値動きに留まった。本日のニューヨーク時間には米雇用統計の発表が予定おり、そこまでは様子見ムードが強まるのではないか。結果次第では上値を試す展開も想定されるが、ここ数日の105.80円近辺での売り圧力は相当強く、引き続き105円台での値動きを予想する。

■今週のドル/円 見通し

田中	竹内	筒井	加藤	牛島	山岸	田坂	尾身	上野	山口	甲斐
ペア	ペア	ブル	ブル	ブル	ペア	ペア	ブル	ペア	ペア	ペア
小野崎	玉井	原田	上遠野	小林	松本	大谷	大庭	逸見	木村	ブル
ブル	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ペア	ブル	ペア	ブル	7 14

